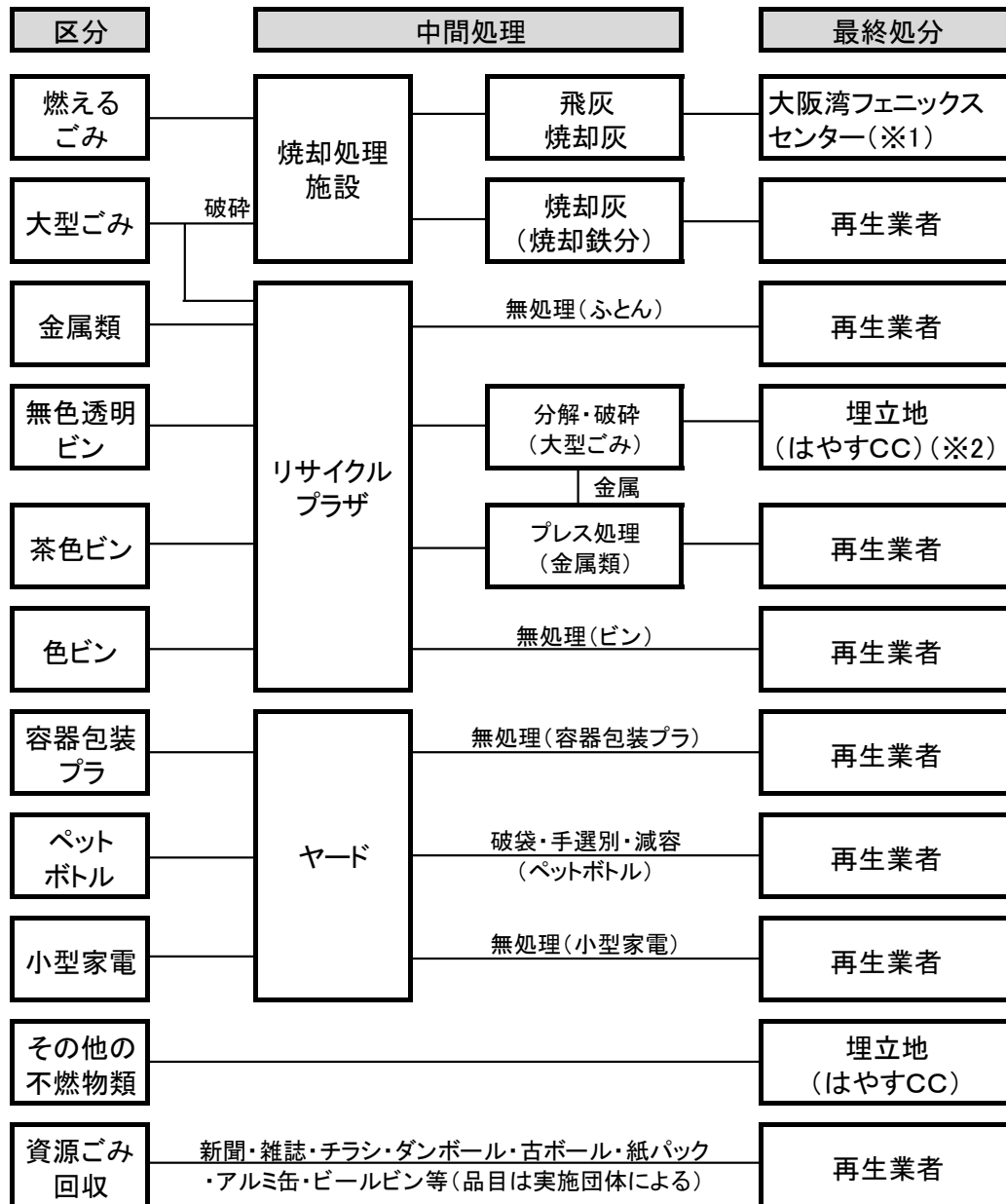


西脇市・多可町のごみの現状

1. 一般廃棄物の処理状況について

現在、西脇市・多可町における一般廃棄物の排出・収集・処理処分については、以下のような流れとなっています。



※大型ごみ、ペットボトル、小型家電、資源ごみ回収以外の項目には事業系ごみも含まれます。

ごみの種類と処理処分のフロー

(※1) 大阪湾フェニックスセンター：大阪湾広域臨海環境整備センター。広域臨海環境整備センター法(昭和 56 年法律第 76 号)に基づき昭和 57 年に設立されました。

大阪湾圏域の広域処理対象区域から発生する廃棄物を適正に埋立処分し、大阪湾圏域の生活環境の保全を図ること、埋立によってできた土地を活用して港湾の秩序ある整備を行い、地域の均衡ある発展に寄与することを目的とし、大阪湾の埋立処分場に、近畿2府4県168市町村の受入区域から発生した廃棄物を受け入れています。

(※2) はやすCC（みどり園はやすクリーンセンター）：西脇市にある一般廃棄物の管理型最終処分場です。平成21年2月にオープンし、20年間の計画でその他の不燃物類等を埋立処分しています。

## 2. ごみの排出量

### ① 排出量

西脇市・多可町の生活系ごみ、事業系ごみ、集団回収量をみると、全体としては減少傾向にあります。

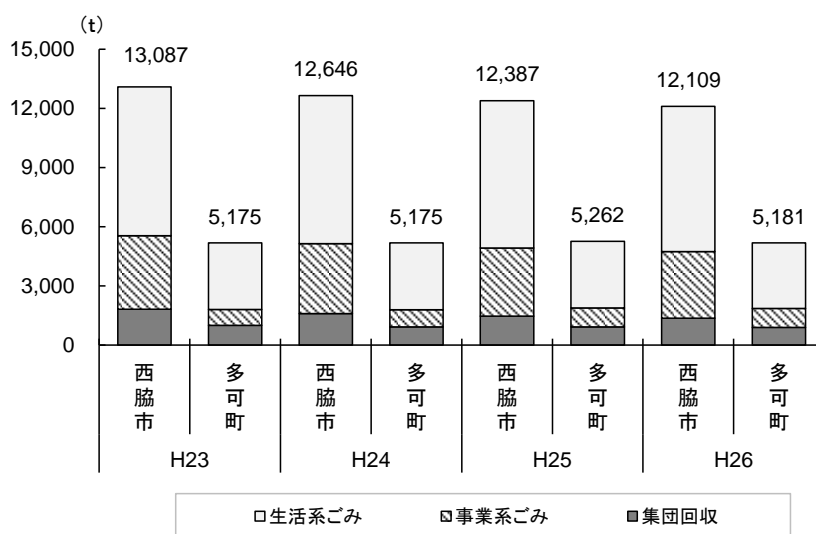


図 両市町のごみ量の推移

表 両市町のごみ量の推移

		(t)			
		H23	H24	H25	H26
西脇市	生活系ごみ	7,540	7,511	7,472	7,370
	事業系ごみ	3,737	3,541	3,453	3,375
	集団回収	1,810	1,594	1,462	1,364
	合計	13,087	12,646	12,387	12,109
多可町	家庭系ごみ	3,368	3,388	3,384	3,332
	事業系ごみ	810	865	960	959
	集団回収	997	922	918	890
	合計	5,175	5,175	5,262	5,181

②排出原単位（1人1日当たりのごみ排出量）

1人1日当たりのごみ排出量をみると、平成26年度は西脇市が777.9g、多可町は635.8gとなっています。全国や兵庫県と比べても低い状況にあります。

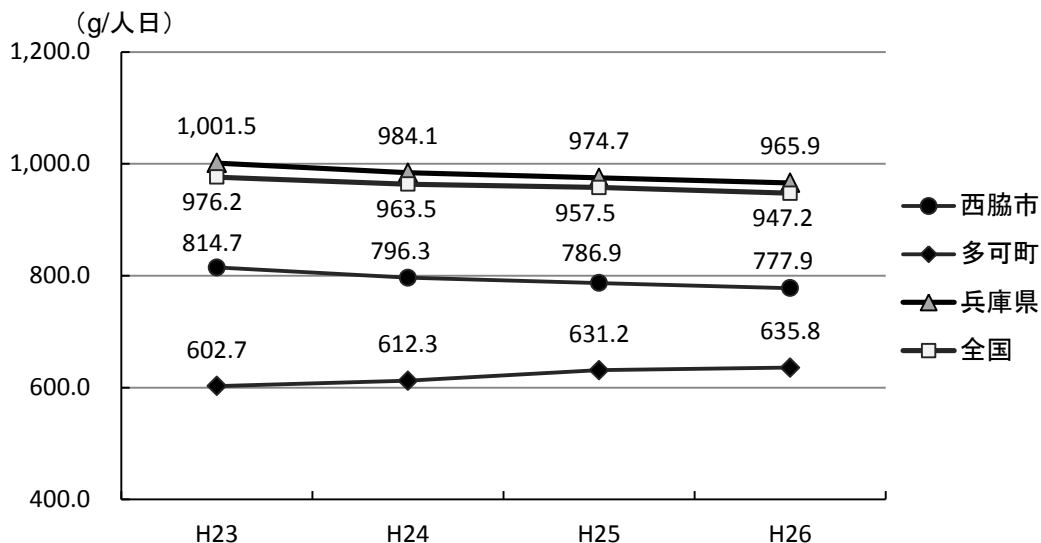


図 両市町の排出原単位の推移

また、兵庫県内の市町において、総ごみ量の排出原単位を比較すると、多可町は最も少なく、西脇市は8番目となっています。兵庫県全体と比べても西脇市は約188g、多可町は約330g少ない状態です。

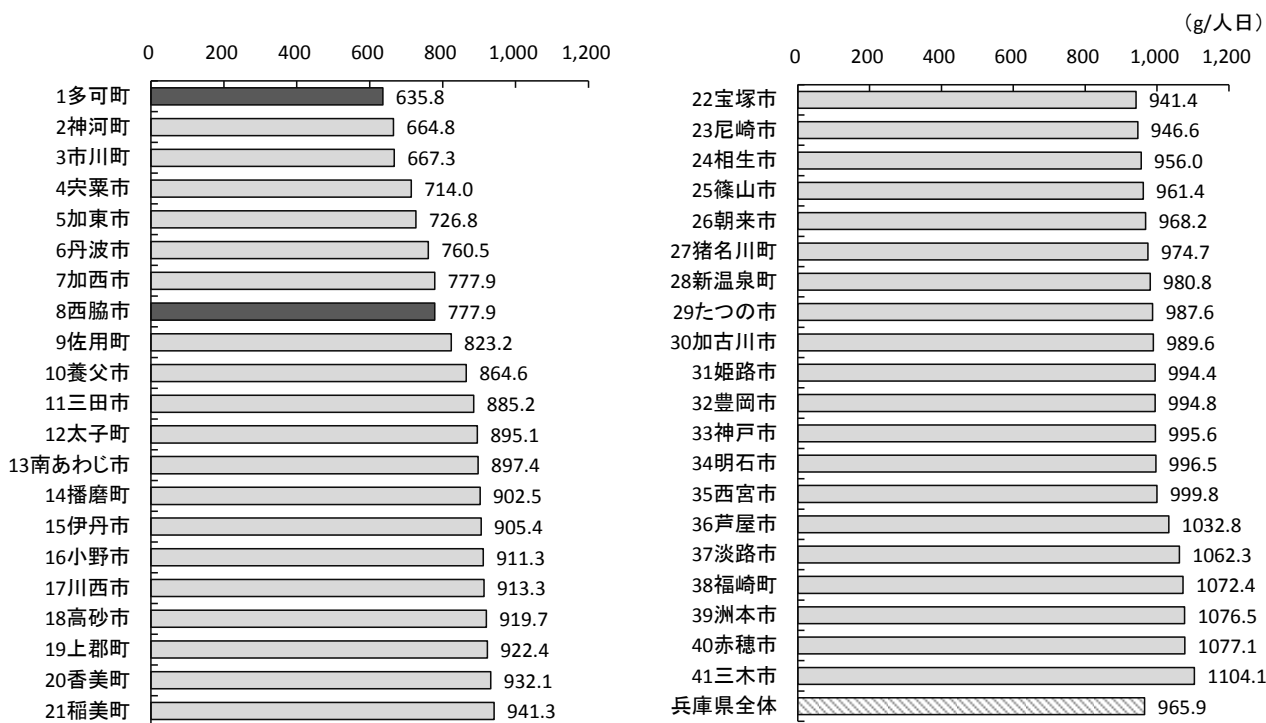


図 兵庫県内市町における総ごみ量の排出原単位の順位 (平成26年度)

(注) 排出原単位については、一般廃棄物処理実態調査結果(平成26年度)環境省を元に作成(人口は10月1日現在の数値を使用)。

同じく、生活系ごみの排出原単位を比較すると、多可町は3番目に少なく、西脇市は8番目となっています。兵庫県全体と比べても西脇市は約92g、多可町は約135g少ない状態です。

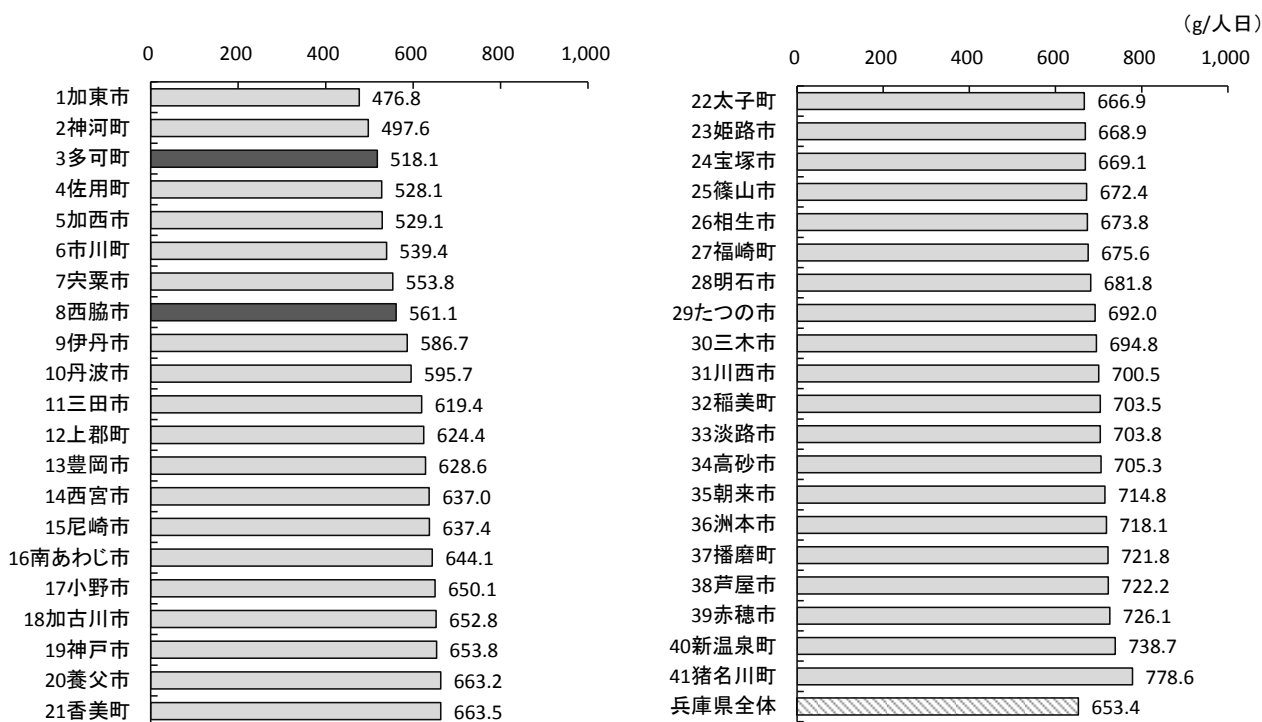


図 兵庫県内市町における生活系ごみ排出原単位の順位（平成26年度）

事業系ごみの排出原単位を比較すると、多可町は最も少なく、西脇市は11番目となっています。兵庫県全体と比べても西脇市は約96g、多可町は約195g少ない状態です。

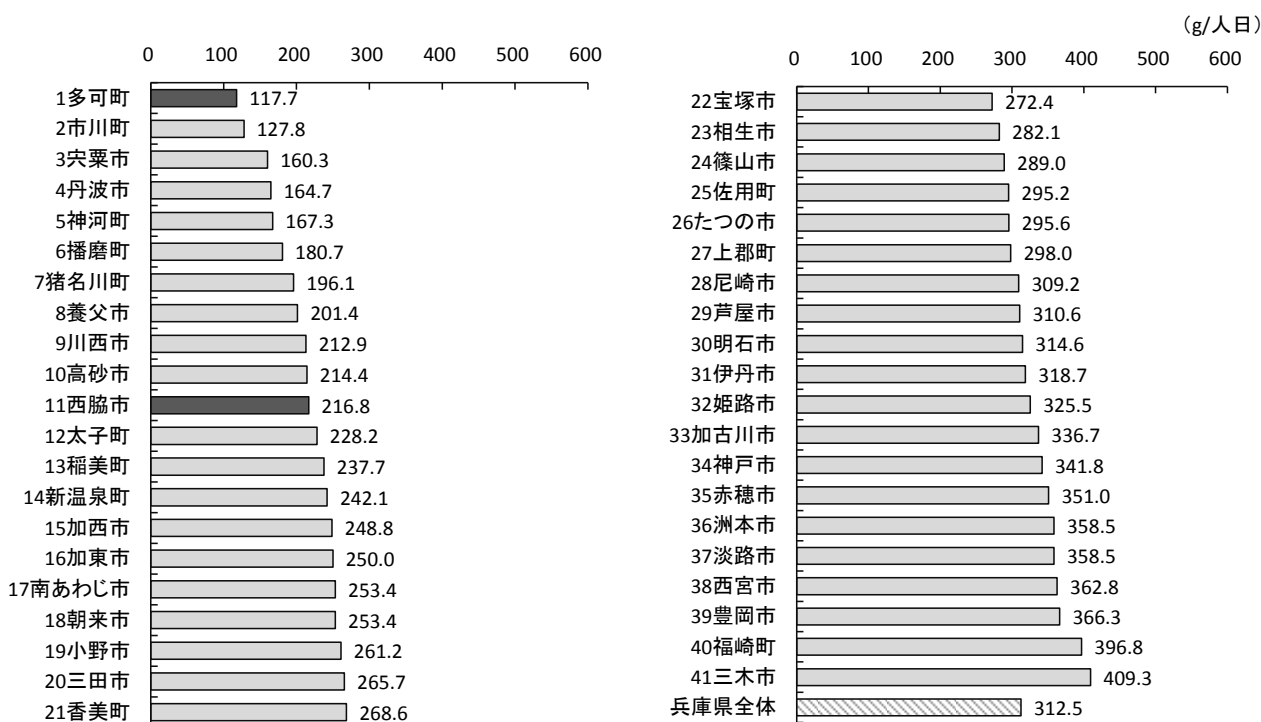


図 兵庫県内市町における事業系ごみ排出原単位の順位（平成26年度）

### 3. 中間処理量

#### ①焼却処理量

両市町の焼却処理量をみると、容器包装プラスチック等を処理する際に出る残渣の焼却分（残渣焼却）はわずかで、大部分を可燃ごみの焼却分（直接焼却）が占めています。全体としては、西脇市は減少傾向にあり、多可町は平成 25 年度をピークに減少していますが、平成 23 年度と比べると増加しています。

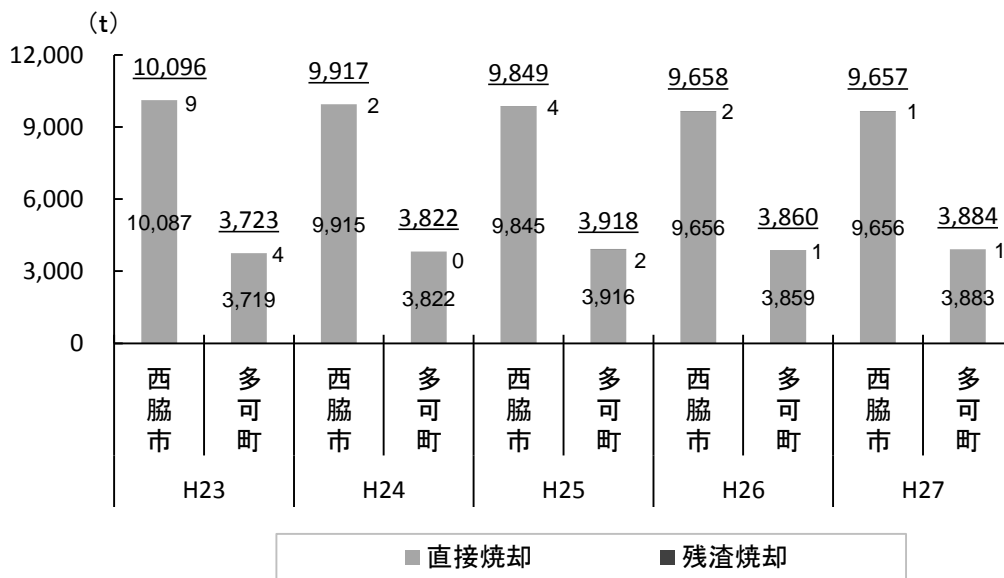


図 両市町の焼却処理量の推移

#### ②資源化量とリサイクル率（※1）

両市町の資源化量をみると、西脇市、多可町ともに減少傾向となっています。

また、リサイクル率について、平成 26 年度をみると、西脇市は平成 23 年度より 2.5 ポイント減少し、減少傾向にあります。多可町は平成 25 年度より改善したものの、平成 23 年度より低下しています。県内の市町と比較すると、多可町が 10 番目、西脇市が 19 番目となっています。

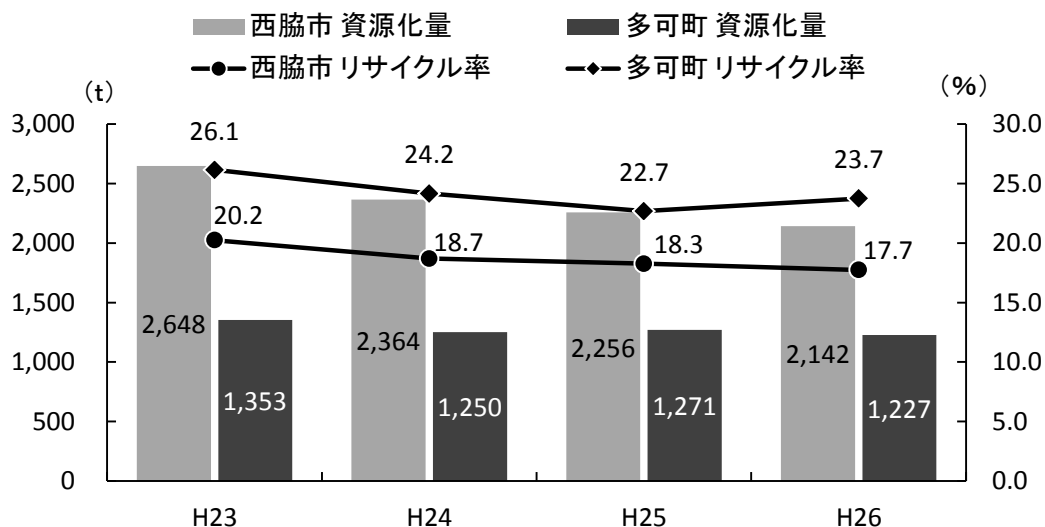


図 資源化量とリサイクル率

表 西脇市の資源化量とリサイクル率

	H23	H24	H25	H26
紙類	1,560	1,355	1,227	1,154
紙パック	11	9	8	6
金属類	235	211	240	221
ガラス類	304	294	283	263
ペットボトル	58	55	65	63
白色トレイ	5	5	4	4
容器包装プラスチック	265	251	252	257
プラスチック類	0	0	0	0
布類	192	184	172	153
その他	18	0	5	21
合計(t)	2,648	2,364	2,256	2,142
リサイクル率(%)	20.2	18.7	18.3	17.7

表 多可町の資源化量とリサイクル率

	H23	H24	H25	H26
紙類	842	775	768	750
紙パック	8	5	2	2
金属類	84	76	89	74
ガラス類	145	136	141	130
ペットボトル	27	24	27	26
白色トレイ	2	2	1	1
容器包装プラスチック	116	111	112	113
プラスチック類	0	0	0	0
布類	121	121	128	120
その他	8	0	3	11
合計(t)	1,353	1,250	1,271	1,227
リサイクル率(%)	26.1	24.2	22.7	23.7

(※1) リサイクル率：ごみ処理量における資源化量の割合です。

(=資源化された量÷ごみ処理量×100)。

資源化された量：施設資源化量。中間処理施設で回収された資源物及び集団回収量の合計です。

集団回収量：地域の集団回収運動による回収量と店頭回収による回収量の合計。

ごみ処理量：「直接焼却処理量」、「焼却以外の中間処理量」、「直接最終処分量（直接埋め立てた量）」、「直接資源化量」、「集団回収量」の合計を言います。

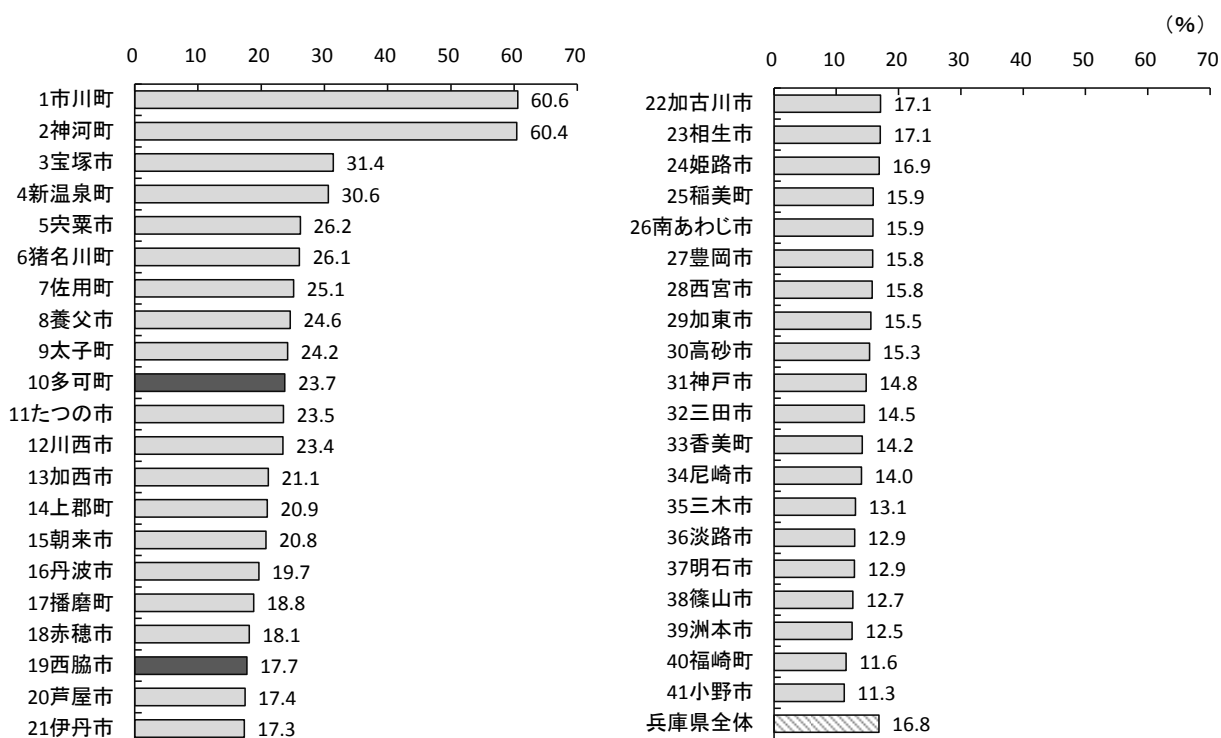


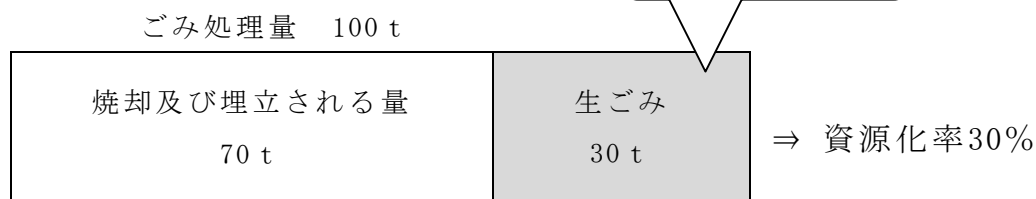
図 兵庫県内市町におけるリサイクル率の順位（平成 26 年度）

なお、計画策定においては、ごみ処理量に対し、資源化される量の割合を「資源化率」とし、目標の設定等を検討します。資源化される量とは、ごみ処理量及び集団回収量の合計のうち、資源化される（焼却及び埋立されていない量）をいいます。

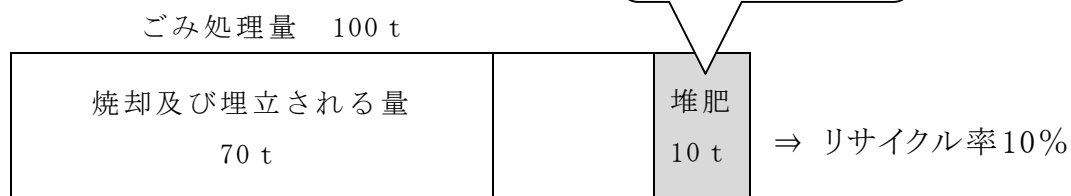
【資源化率とリサイクル率】

～生ごみをたい肥化する場合の例～

[資源化率]



[リサイクル率]



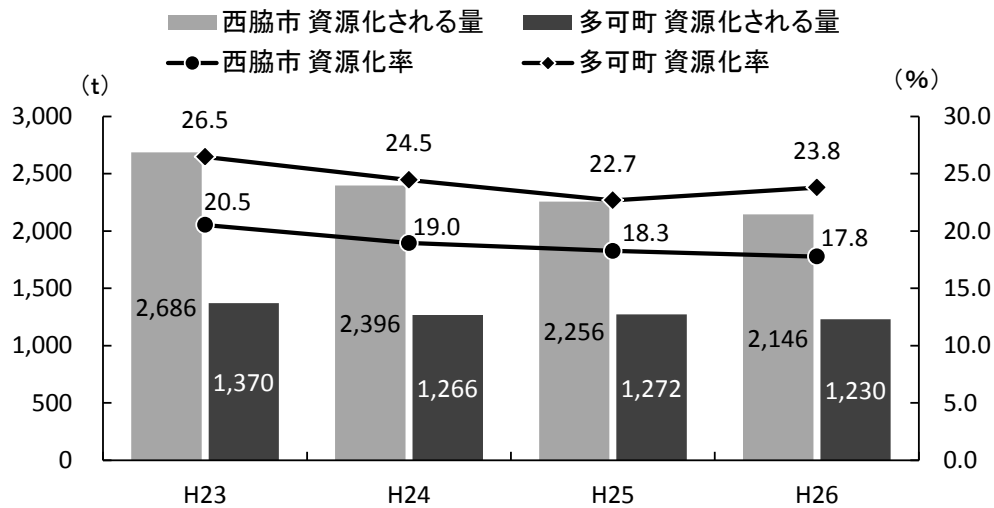


図 資源化される量と資源化率

表 資源化される量と資源化率

		H23	H24	H25	H26
西脇市	集団回収量	1,810	1,594	1,462	1,364
	焼却以外の中間処理量	876	802	794	782
	直接資源化量	0	0	0	0
	資源化される量	2,686	2,396	2,256	2,146
	資源化率 (%)	20.5	19.0	18.3	17.8
多可町	集団回収量	997	922	919	890
	焼却以外の中間処理量	373	344	353	340
	直接資源化量	0	0	0	0
	資源化される量	1,370	1,266	1,272	1,230
	資源化率 (%)	26.5	24.5	22.7	23.8

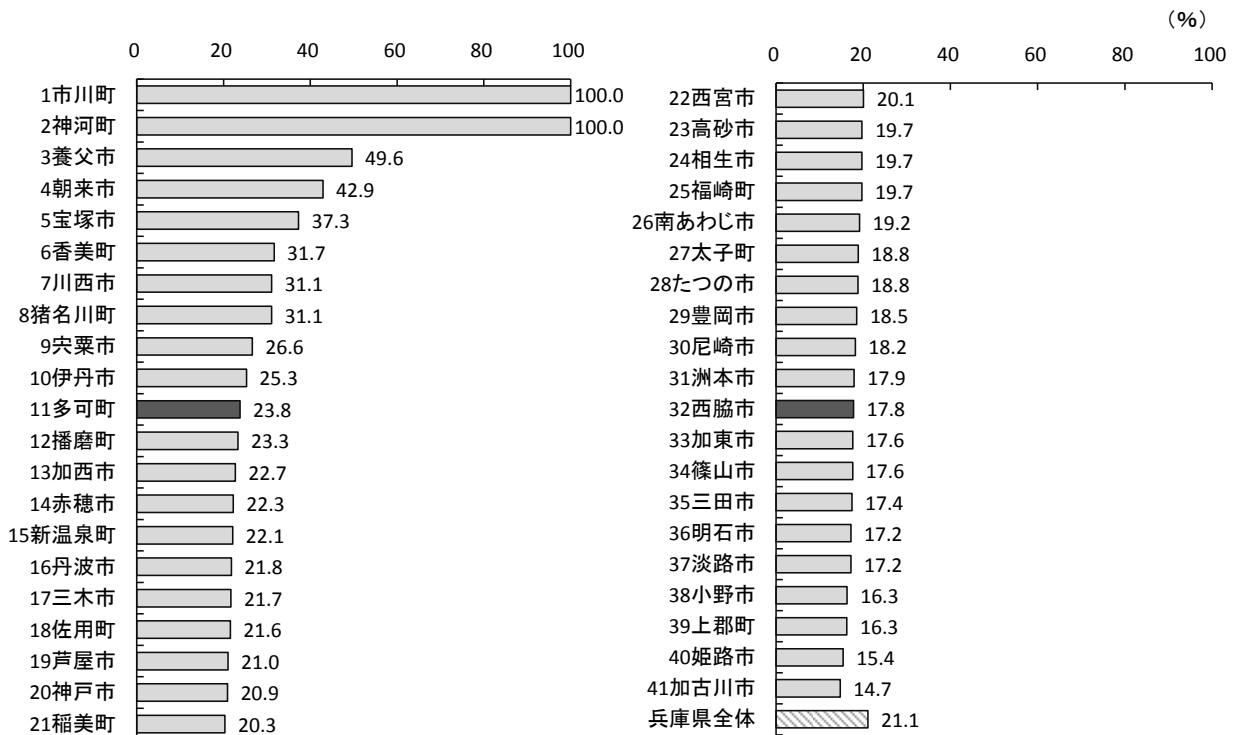


図 兵庫県内市町における資源化率の順位（平成26年度）



#### 4. 最終処分量

両市町 of 最終処分量をみると、近年はどちらも微増微減を繰り返しています。平成 27 年度における最終処分量を平成 23 年度と比べると、西脇市は 43 t 減少していますが、多可町は 14t の増加となっています。

最終処分先としては、みどり園はやすクリーンセンターと大阪湾フェニックスセンターがあり、みどり園はやすクリーンセンターではガラスや陶器等の不燃物、中間処理施設からの破碎残渣の埋立処分を行っています。大阪湾フェニックスセンターへは、焼却灰等の焼却残渣や中間処理施設からの破碎残渣を搬入しています。

表 両市町 of 最終処分量 of 内訳

	H23	H24	H25	H26	H27
<b>西脇市</b>					
直接埋立(※1)	311	332	283	276	273
処理残渣埋立(※2)	936	929	938	928	931
合計(t)	1,247	1,261	1,221	1,204	1,204
<b>多可町</b>					
直接埋立	85	87	73	79	72
処理残渣埋立	349	362	374	373	376
合計(t)	434	449	447	452	448

- (※1) 直接埋立：焼却や破碎等 of 中間処理を経ずに埋立しているもの。本市町では、ガラス食器や陶器等 of 不燃物類が該当します。
- (※2) 処理残渣埋立：中間処理施設で処理（焼却や破碎・分別等）されたもの of 資源化できないため、埋立処分を行っているもの。本市町では、焼却灰や可燃物及び不燃物等 of 処理残渣が該当します。

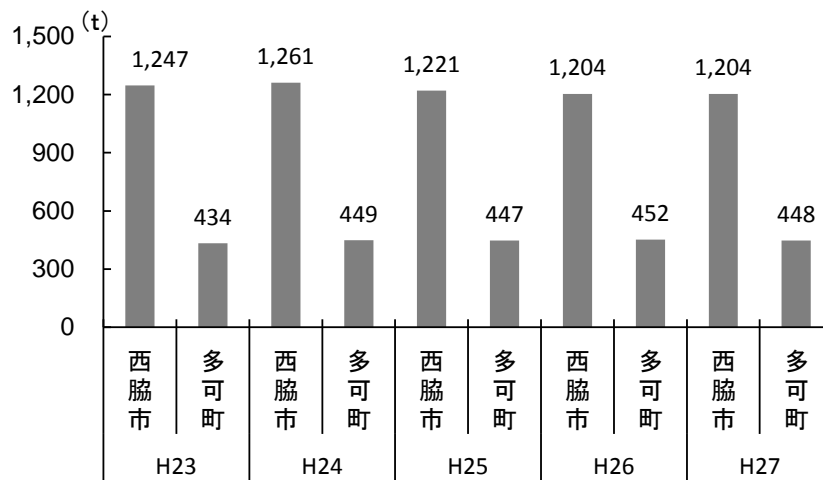


図 両市町 of 最終処分量 of 推移

## 5. ごみ処理にかかる費用

平成26年度の両市町のごみ処理にかかる費用は、西脇市で1人当たり11,914円、多可町で10,786円となっており、平成20年度に比べ西脇市は約1,900円、多可町は約2,400円増えています。1t当たりで見ると、西脇市は41,961円、多可町は46,482円となっており、平成20年度に比べ西脇市は約10,800円、多可町は約9,800円増えています。また、国や兵庫県と比べると、1人当たりの費用は両市町ともに低く抑えられていますが、1t当たりの金額では多可町が兵庫県より高くなっています。

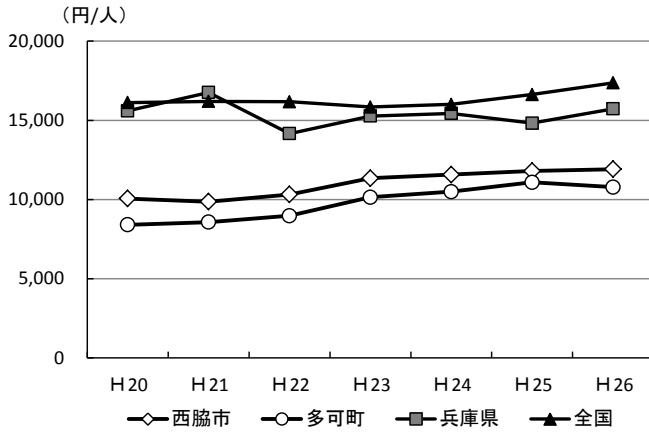


図 1 人当たりのごみ処理費用

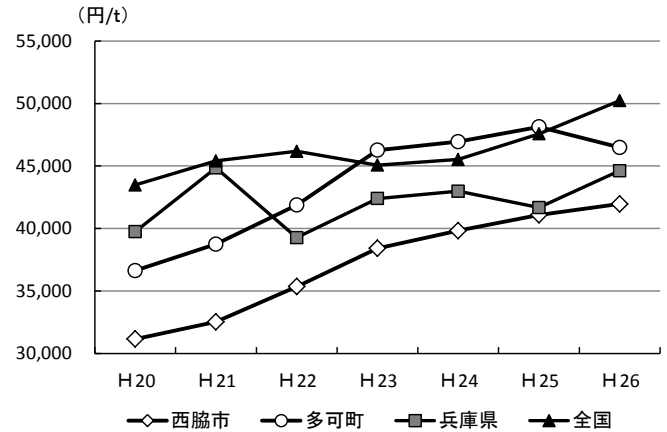


図 1t 当たりのごみ処理費用

表 1 人当たりのごみ処理費用

	(円/人)						
	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
西脇市	10,059	9,862	10,320	11,345	11,576	11,800	11,914
多可町	8,403	8,575	8,975	10,145	10,493	11,090	10,786
兵庫県	15,602	16,764	14,163	15,271	15,440	14,825	15,731
全国	16,122	16,201	16,176	15,844	16,009	16,628	17,365

表 1t 当たりのごみ処理費用

	(円/t)						
	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
西脇市	31,151	32,534	35,356	38,411	39,827	41,084	41,961
多可町	36,632	38,751	41,875	46,260	46,952	48,128	46,482
兵庫県	39,752	44,850	39,264	42,393	42,987	41,673	44,621
全国	43,487	45,405	46,181	45,070	45,522	47,577	50,226